

# 長崎文化放送 株式会社 スタジオ照明改修



所在地：長崎県長崎市茂里町3-2  
スタジオ面積：75㎡  
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上5階建  
照明改修施工：東芝エルティエエンジニアリング(株)  
照明改修完成：平成22年7月

S138

平成2(1990)年に開局した長崎文化放送株式会社。  
ニュース・制作・バーチャルの3形態で運用されるスタジオの照明設備を全てLEDに更新されました。

## 長崎県下を放送対象地域とする、地域に密着した放送局

平成2(1990)年4月に開局した長崎文化放送は、東京・大阪、福岡・佐世保に支社を、県内各所に中継局を持つ、長崎県下を放送対象地域とする放送局です。主にテレビ朝日系列の番組を放送するほか、地域に密着したニュース・情報番組の制作も行っています。

スタジオはニューススタジオ、番組制作スタジオ、バーチャルスタジオの3つの形態で運用されており、既存照明設備の更新時期がきたことから全てLEDに更新されました。

## フルLEDリニューアルしたことにより、大幅な節電と高品質な光環境が両立

スタジオは、既存では2灯式・4灯式蛍光灯フラッドライトと、500Wハロゲンランプスポットライトが中心に使用されていました。これらのスタジオ照明器具全ては更新時期を迎えたため、環境への配慮と節電の徹底を図るうえで、エネルギー効率が優れ、長寿命のLEDフラッドライト(消費電力185W)をはじめ、LEDスポットライト6000クラス(消費電力96W)と1000クラス(消費電力170W)に更新されました。

これにより、既存比で消費電力64%削減しながら、既存照明以上の品質のよい明るさが得られており、長寿命によりランプ交換の手間もなく、管理面・運用面とも一段と向上しています。ニューススタジオ運用時では商品撮影も行われており、その商品の色味も演色評価数Ra85以上により忠実に再現。バーチャルスタジオ運用時ではクロマキーの抜けがよく、立体感ができるようになりました。特にバーチャル運用時は、LEDフラッドライトの光が均一に照射され、人物と幕との違和感がない照明環境が得られています。そのほか、LEDはほとんど熱がないので空調の効きがよくなったほか、従来のハロゲン器具よりも台数を減らして運用できるため、省エネに加え台数制御によるダブル節電効果を生み出しています。また、サブ内壁面に設置していた調光操作卓を可搬型に変えたことによりスタジオ内でも使用できるようになり、楽にアかり修正が可能となりました。



ニューススタジオ時のスタジオ全景 スタジオ照明がフルLED化され、大幅な消費電力を削減しながら商品撮影時の色味の再現性もよく、良質なスタジオ照明環境を發揮。



バーチャルスタジオ時のスタジオ全景 クロマキーの抜けがよくなり、立体感をよりよく表現

LEDベースライト

### 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数
スタジオ	LEDスポットライト	AL-LED-FS-10	7
		AL-LED-FS-6-2	6
	LEDフラッドライト	AL-LED-FD-10	20
	LED一体形ベースライト直付形	LEDT-56021W-LD9	4
	LEDミニライティングキット	AL-LED-MLK	1式